

様式第3号(第4条関係)

会 議 録

1. 附属機関等の会議の名称 第4回「元気センター(仮称)」建設委員会

2. 開催日時 令和4年5月10日(火) 18時30分から20時00分まで

3. 開催場所 松川町役場2階 大会議室

4. 出席者氏名 「元気センター(仮称)」建設委員

【建設委員】

・松川町議会 米山 郁子

・松川町社協 栗畑 孝弘

・松川町福祉を考える会 原 節子

・親愛の里松川 藤澤 恵

・身体障がい者福祉会 小木曾 茂

・公募委員 宮澤 武彦

【理事者】

・宮下 智博 町長

【事務局】

・塩倉 智文、伊藤 遼太、原 涼太

5. 議題(公開)

(1)仕様内容の検討について

(2)その他

6. 非公開の理由(会議を非公開とした場合)

—

7. 傍聴人の数

0人

8. 会議資料の名称

・第4回「元気センター(仮称)」建設委員会 次第

9. 協議の概要

1. 開会 課長

2. あいさつ 宮下町長

3. 会議事項

(1) 仕様内容の検討について

事務局より先日の社会文教委員会での意見について説明。

(質疑)

委員: あすなろとエコールの位置を入れ替えたほうが良い具体的な理由を教えてください。

事務局: あすなろを利用している、精神障がいの方はわざわざしたところが嫌な人も多いだろうということを懸念していた。それを踏まえて、あすなろが入りに近いのはどうなのかという意見だった。

設計担当者からは放課後デイの方が人が通りやすい、あすなろは靴を履き替えた後、振り返って戻らないと入れないため、隠れ家のような感じになっていて人が入りづらいと説明いただいた。

重度の精神の方がいらっしゃるのがあすなろという知識がある議員だったのでそういう指摘になった。

町長: トイレの導線の話はもう1点ある。事務室の左側が相談室になっていて、その隣に男子トイレ、女子トイレがあって、L字になって更衣室が男女になっている。男子トイレを出たときにちょうど女性の更衣室が開いていたらそのまま見えてしまうのではないかと懸念していた。

町長: 先ほど、事務局からも話をさせてもらったが、基本は検討委員会でしっかり揉んで作ってきた整備計画の中で動かせるものに関してはある程度検討していきたいと思っている。

整備計画から大きく外れているような話に関しては改めて説明させていただく。

委員: 先ほど質問の中で各事業所、今の広さで狭くないのかというところを聞いておきたい。

事務局: 自分たちは経緯がわからない。ざっくばらんに教えてもらえればと思う。

単純に面積は狭くなっていて、このような仕様になっている。単純に不便さを感じられるところはあるか、意見を頂きたい。

委員: 確かに今使っている施設より狭くはなるが、ごちゃまぜという視点でいろいろなところを使っていける。狭さや不便さは感じない。

委員: 1,000 平米という枠の中で不便を出さないよう、いろいろ意見を出させてもらった。特段、狭さや不便さは感じない。

それを崩すと、また根本的に変わってしまうということになる。

事務局: 議員も各事業所が我慢していないかという思いがあったかと思う。今のようやりとりあつ

て、現在の形になったということならまた議会で説明する。

事務局:事務室のあり方について、閉鎖的から開放的というところで、小部屋が多い印象を持っている。精神障がいの方は落ち着く場所も必要であること、いろいろな方と交流できる場所として食堂があったりと、そういう説明はしてきたが、もう少し開放的にできる部分があるのではないかという意見だった。何か提案いただけたらと思う。
仕切りの部分についてはガラス張りになる予定。入ってきたときに全部が閉鎖的に見えるわけではなく、中でどのような活動が行われているかは一般の方にも見えるようになっている。

委員:摺りガラスの使用で中が見えない仕様ではなかったか。

事務局:イメージは透明ガラスだった。透明ガラスが無理なら摺りガラスに変更しなくてはならないと思う。

委員:えみりも最初、透明ガラスだったが、嫌だという意見が出て半分摺りガラスになった。そういった経緯もある。

事務局:開放的なのをどこまで許せるかになってくると思う。活動を見られたくないというようだったら摺りガラスにしなくてはいけないし、パーテーションで区切って壁がないようにしたほうが良いという意見の方もいる。

私としては、壁は必要でそれぞれ個別の部分っていうのはどうしても必要で活動時間帯に他の人達が勝手に入ってくることはありえないと思っている。

一般の方たちが使われる時間にこの部屋に入っているのかという部分を確認したい。

事業が終わったら鍵を閉めて帰るようになるのか開けてもいいのかという部分。

議員の中にはその壁を取っ払わないとごちゃませ感というコンセプトが見えてこないのではないかという意見もある。

委員:親愛の里としては営業時間以外は施錠をするというイメージでいた。備品の管理だったり、そういったところで施錠は必要だと思う。

今の現状だと、感染症対策の対応という面でもある程度区切らせてもらいたい。

設計担当者からはガラス張りにして中が見えるようにということで説明を受けている。

放課後デイについては見られるのが苦手な子供や、仕切ったほうが良いなというときはロールカーテンのようなもので仕切るなど、見てもらいたい部分とプライバシーに配慮する部分を上手く区別できれば良いかなと思う。

あすなろについては中に入っていって何をやっているかわからないようだとごちゃませだったり、そういった視点では違うのかなというところがある。ゆっくりするところは見えない。だけど、にぎやかにしているところは見えるというような形でレイアウトも考えさせてもらった。ガラスで中が見えるようにしてほしい。

事務局:障害特性が厳しい親愛の里の意見が一番なので、社協の場合は一般の人が入ってきてもかまわないか。

委員:そこは問題ない。皆さんおっしゃられたように守られるべき時は守れるよう、プライバシー

は必要。

それから、ごちゃまぜの考え方について、壁を取っ払ってしまえばごちゃまぜになるのかというのは少し違うかなと思う。プログラムの内容等でごちゃまぜは生まれてくると思う。

1階正面のフリースペースや広い廊下ですれ違ったり、触れ合えて、他のところは区切る。それで問題ないのではないかなというふうに思う。

事務局:それぞれのプライベートの部分は守っておいて、そこから出てきて一般の方々と交流できるという考え方でここまでやってきたということで宜しいか。

委員:ごちゃまぜになるプログラムとかそういった仕組みを考えていけば良いと思う。壁がないところだと落ち着かないように思う。

事務局:落ち着かなく元気センターに來れなくなる。

委員:安全に過ごせる場所があつて、そこから一歩。そこを保証してあげないと広げられない。どこかでほっとできる場所を環境面でも確保してあげないと安心して一歩ができませんかなと思う。

事務局:事業者でない委員の皆さんはどういった印象を持っているか。

委員:その話がでたときに、ごちゃまぜっていろいろな部屋が入って一緒に活動するということではなくて同じ場所にいるということがごちゃまぜという意味であると思っている。先ほど社協が言ったようにこれから始まっていく中で、交流の場を作るのはまたそれぞれの会議室がある。普段、それぞれが活動しているところに一般の利用者も入ってやるってことはまず考えてないと思う。壁が多いとか、小部屋が多いとかという意見はいいと思うが、私は今のままで良いと思っている。

町長:議員からの意見は理解できないところでもなくて、確かに一般的にはえみりあのような建物から壁をなくしていこうという話が出ています。ただ、今回は配慮が必要な方がおり、居場所を確保するというので改めて話をする。

総合整備計画の中にもプライバシーの確保とみんなの交流の場の確保ということをやっている。改めて伝えていきたい。

もう一つ。2階に高齢者がいるというのは危ないのではないかなというような話を頂いている。

委員:言われた意見は例えば地震があつたときに避難するには危険だという意味合いなのかなと私はとらえた。

町長:エレベーターもある。エレベーターがなくて2階は厳しいかなと思うが。

委員:電気がなくてはエレベーターは使えない。

提案がある。放課後デイを2階にもって行って、コミュカフェを二つに分けるのは可能か。プログラムによって、使える場所が上と下で分かれていても問題はないか。

そのほうがごちゃまぜ感もある。活動を二つに分けてみるというのもまた一つのアイデアかなと思う。

- 委員: 確か、活動室は前々回に社協がこの広さでは活動ができないということで大きくしてもらった経緯があるはず。そうすると分けるということはまずできない。
- 町長: 一番最初は活動室が3つに分かれていて、いろいろと打合せを重ねていく中でこの形になった経緯がある。
上と下に分けたほうが良いというのは足の悪い人は上に登らなくて済むようにという配慮か。
- 委員: プログラムによって毎日登るのではなく、講演会の時は1階にいてくださいというような感じ。絵葉書を描いたり、麻雀教室、パソコンなど個々の活動も多い。
コミュカフェの方々が帰った後、子供たちも2階で遊べる。子供たちは階段も好きだし良いのではないかと思う。
- 町長: 思ったのは1階が比較的配慮が必要な方、2階は1階のロビーを通過して2階の全面がパブリック的に使えるというふうに設計担当業者が工夫してくれたのかなと思った。
ただ、大きな部屋が確保できなくなるとまた最初に戻ってしまう。
- 事務局: もし、交換するとなると活動室3と放課後デイが交換になるかなと思う。
活動室1、2はそのまま。静養室が下に来ると狭くなってしまう。
- 委員: とにかく広いところが必要になってくる。
- 委員: 図面だと広く見えるが、社協の会議室より狭く、その横の事務所より少し広いぐらい。プログラム等の関係でこういった設計をお願いした。活動室3と活動室2もつながっていて、活動された方がすぐ横に行って休むという流れ。
設計担当業者は1階は賑やかで子供もいて、2階は高齢の方が静かに過ごせるような設計を考えてくれた。現場からもその方が良いという声を聞いている。
基本的にはこの形で作っていただいて、プログラムやその内容によって部屋を交換したりすることはできると思う。このまま作っていただくと社協としてはありがたい。
- 委員: そういう話を聞いたかった。お互い交換して使ったり、自由な考え方でいるということを伝えていかなければいけない。今だとこの図面だけでどうしても判断してしまう。
- 委員: 運用の段階になってきたら、十分そういうことは考えられる。
- 事務局: 整備計画作成時に各事業所のタイムスケジュールを作ってもらった。コミュカフェの方々が帰る時間と放課後デイの子供たちがやってくる時間が少しだけ重なって、その後は放課後デイの子供たちの時間になる。コミュカフェの方たちがいなくなった2階で子供たちが遊ぶということは十分考えられる。
放課後デイではない子供たちも学校の帰り道に元気センターによって親の迎えを待つという子供たちがいてもいいと思う。
そういう考え方だということを説明させてもらう。
- 町長: 2階からの避難について改めて考えていきたい。今は避難袋という形で設置をする予定。
- 委員: 使用している動画を見たが、現実的ではないなと思った。ただ、建物の構造上、絶対に

避難器具をつけないといけないということでつけてもらった。

当初は非常階段を設置してほしいというお願いだったが、コスト面などから難しいとのことだった。

町 長:エレベーターは動かない電源を喪失した状態での安全な避難経路ということで宜しいか。

委 員:宜しい。すぐに外に出られるというところで非常階段が欲しかった。

委 員:自家発電はないのか。

事 務 局:10 時間は自家発電で過ごせる仕様になっている。ただ、事務室周辺で過ごすという考え方になる。

エレベーターまで動かせる仕様にするかどうかは検討する必要がある。

今の段階でエレベーターを自家発電で動かせる仕様なのかを確認する。

事 務 局:非常階段に関して、コスト面のこともあるが、町としても必要なものと認識している。

設計担当業者には何かいいものがないか問いかけをしている中で高齢者施設にある緊急用のらせん滑り台を提案してくれている。

ただ、町とするとそういった説明があったほうがいいかなという認識でいる。場所もどこにするのかというのは確定していない。

担当としても大事なところだと思っていて、確実に必要なものだと思う。それを屋外階段にするのか、らせん滑り台にするのか、様々な立場から意見を頂きたい。

委 員:らせん滑り台とはどういうものか。

事 務 局:鉄でできた本当のらせんの滑り台。

事 務 局:スピードがどれくらい出るのが心配。上からどんどん降りてきて、下の人たちを押つぶしてしまうのが危険。それなら階段をゆっくり降りていったほうが安全。

事 務 局:滑り台を使う際は基本、上下に職員がいて対応する。

委 員:今、救助袋がついているバルコニーあたりから下に降りられる階段があればいいかなと思う。

救助袋はつけないといけないため、救助袋も設置してもらうようになる。

救助袋を使用している動画を実際に見たが、とてもじゃないけどお年寄りには無理だと感じた。よじ登ってすごい勢いで降りていた。セッティングについても金具で止める必要があったりと、あれを非常時にできるのかという疑問。雪で地面が凍ってしまっているようなときにセッティングはできるのかと感じた。救助袋は現実的ではないと思った。

事 務 局:階段を慌てて避難して何人も重ねて落ちるよりは、1 人ずつ滑り台で降りたほうがいいかなという面もあるし、滑り台でスピードが出てしまって結局転んでしまって骨折するのが怖いという面もある。

今までの事故事例などを見たうえでどちらか選択するという形になるかなと思う。

緊急時だと何が起こるかわからない。全員が慌てているところなのできちんと管理して作っていくことが一番かなと思う。

- 町 長:先ほどの発電機とエレベーターの話。
一応確認はするが、エレベーターは使えない。地震等で損傷している可能性があり、閉じ込められてしまって二次災害になる危険性もある。
絶対に使えない。
- 事 務 局:東側の斜面に畑は必要かという質問があった。これはエコールからの要望で宜しいか。
- 委 員:宜しい。ただ、なかったらなかったで近隣を借りることはできる。絶対に必要というわけではない。
- 委 員:畑がいらないとなると、その分の空いたスペースを利用して平屋にしてはどうかという意見が出てくる。畑や駐車場があるから2階建てになってしまっているというイメージがある。畑がなくなれば駐車スペースが広がって建物自体を広く作れるという意見がある。
- 事 務 局:東側はあまりにも斜面になっており、これ以上は東側にずらすとこはできないという説明はしている。
斜面になっているから、畑や花壇にしてみんなで使っていく、もしくは東側の住宅との兼ね合いで東側を花壇にするということもあるかと思う。ここは変わらず、花壇でいきたいと思っているが、そういう意見があつてどの施設がどんな目的で利用するのかを確認したかった。販売目的ではないということで宜しいか。
- 委 員:宜しい。
- 町 長:整備計画の中で施設一覧の中に畑とは入っていないが、放課後デイの中で楽しく自信をつけながら様々な活動にチャレンジする意欲や自主性を大切にしている。具体的には食育学習エコール食堂や学習のつまずきやというような感じで食育をきっかけとしてやっているというのと、あすなろのほうでも植物の生産ではないと思うが生産活動がある。そこが接点になって交流できるということで設計担当業者が工夫したところではあるかと思う。
- 委 員:さっきも言ったように、野菜の作り方をおじいちゃん、おばあちゃんに教えてもらったりだとかって自然の交流が生まれる場所ではあるのかなと思っている。ぜひあればいいかなと思う。
ただ、この畑がなければ別の設計案が出せるというようであればそこまで優先度は高くない。
- 委 員:駐車場にはできないのか。
- 事 務 局:東側の斜面に駐車場はあり得ないと思う。
床面積、2階の活動室は広くはできるがそうすると全体の1,000平米を超えてきてしまう。そうすると1,000平米を超えていいよという結論に変わってってしまうのでそこをどうするかという話になっていく。
設計担当業者には確認したが、1,000平米を少し超えそうな場合は、基本的に1,000平米以内に収めるようにするのが設計の基本とのこと。
町は当初900平米でスタートだったが997平米ぐらいまで広めていただいたのかなとい

う感じもする。

今の東側の斜面のところを駐車場にするためには土木工事等も行わないといけなため、この案は難しいかなと思う。

町 長:面積のことはともかく、畑の部分を少し南に寄せることができれば車寄せやL字の駐車場はもう少しゆったりするかもしれない。

事務局:全体を南にずらすとまちカフェが150度から160度とかに少し変わるかもしれない。

委員:現在、実施設計の予算がとおらない。議会の理解が得られるように皆さんの方から意見を出してほしい。

町 長:委員の方には本当に頑張っているが議会ではなかなか難しい話になってしまっているのが現状。

事務局:私たちが確たる2年をとるという回答ができなかった部分について今、話をしている。

事務局:事務所について。職員の机を個別にするのではなく、大きな机と椅子、パソコンを置いて席を決めずに仕事をするというような仕掛けも面白いのかなと思っている。1人1人を固定するのではなく、ちょっとでも自由に動けるように。

社協が言われたようにごちゃまぜは環境ではなく、入る人たちのソフト面の対応だと思っているがごちゃまぜがしやすい環境を作るのも大事なのかなと思う。その一つとしてかっちり決めない。そういうスペース作りというのは大事なのかなと思う。

実際に使う社協や親愛はどうか。個人情報等があるため、なかなか同じグループというわけにはいかないとと思うが。

せっかくこういう施設を建てる。固定してしまうよりは面白いのかなと思う。

事務局:いわゆる、フリーアドレス。今日はこの机、明日はこの机というような形。個人情報はキャビネットなどにしまって鍵を閉めておいて、出勤した人達で机を分け合うようなイメージ。

委員:一番最初はそうだった。

委員:スペースにどうい家具を置くか。そのあたりはまたいろいろ考えていければいい。

委員:職員の人数が多く、職員の車の台数も多いという意見をもらっている。本当にこれだけの台数が必要なんだという数字を示してもらうのが一番納得する。行ってもいないじゃないかとか、皆さん勝手にイメージを持っている。最低何人職員が必要ということも決まっているはず。そういうことを踏まえたうえできちんと伝えないと理解してもらえない。

町 長:駐車場に職員19名という根拠を積み上げるときに1回聞いているのかなと思う。

事務局:直近にも聞いた。

委員:きちんと教えてあげないと。

事務局:今度、専用の表を作って示したい。

委員:実際、働いている方の名前を出しても良いと思う。これだけの人が仕事をしているんだということを伝えたほうが良いと思う。

町 長:人と机が決まってしまっているといる人といない人がはっきりわかってしまう。

ある程度、共有のキャビネットだけしっかりしておいて、どこにでも座れるようにする。人

数によって自由に配置を変えることでいつも人がいるように見える。そのあたりは表現の仕方として持っていけるのかなというのと、当初のコンセプトに少しあったが、事務所は少し開放的な感じにしたほうが

いいのかなというのは改めて提案するかもしれない。

事務局:設計担当業者と話をして、トイレの男女の区分けを行うとすると、事務室を少し小さくしないとトイレの区分けはできそうもないという話があった。現在、新しく図面を作り直す話にはなっていて、明日そこをリクエストするが、事務所が決まった机でなくていいとなれば少し事務室を削って、トイレの配置を考えられることは可能性として出てくる。何平米削れば何とかかなというのはいないが一つの考え方としてありますということ。

委員:トイレはそれほど問題なのか

事務局:こだわりがある方。

委員:そのトイレはどこが問題なのか。

町長:入るときに導線が交わってしまうのと女子更衣室の前を通ってしまう。

委員:これからは女子は西、男子は東と場所を並べない、離れていると理想的。

委員:そうするとコストもかかる。

事務局:今考えているのは、男子トイレの位置を授乳室の位置と交換して女性は女性、男性は男性というやり方があるのかなと思うが男子トイレの狭さは少し気になってしまう。多目的トイレは男女が一緒に使うため、授乳室とか、エレベーターが若干狭くなるというものあって、給湯室が離れてしまった。そこも問題だが、何とかできるなら、今の事務室を少し変えて、入り口そのものを変える。男性側が授乳室側からきて、女性がよく使う授乳室、更衣室、女子トイレが並ぶような感じ。

廊下から入っていく際に、ここが入り口に見えるというふうに感じてしまう。トイレの入り口はちょっと違った向きに作らないとダメかなというのは思っている。

2階については根本的にこの構造を変えなければならぬので、エレベーターの位置も変えるといった工夫が必要になってくるかもしれない。事務室を削っていいとなれば少し話ができる可能性もある。

今の事務所のスペースをそのままにしていけばエレベーターの大きさが変わってきたのでそのあたりと交換したりとかっていうのはできるかもしれない。

そのあたりは設計担当業者にお任せして、少し工夫してもらおうようお願いしてある。次に出てくる図面を見てもらえればと思う。

前回、委員の方から調理室のカウンターの部分の前の図面の方が印象が良かったという指摘があったため前の図面に変更できるか依頼もして相談をしている。壁があつてくさび型に見える印象のところをローカウンターをオープンカウンターにして、壁がないことによって広さを演出できないかという話もしてある。

他の議員からは南側がせっかく日差しが当たるのに壁を作ってしまうのはもったいないという指摘があった。調理室に日が当たっていいのかという部分も含めて少し協議す

る。

もしそれをやってしまうとすると調理室の位置も変えなければいけなくなってしまうためそこはもう一回確認しながら協議する。

根本的な形を変える中で、中のパーツをいじることはまだできると伺っている。リクエストも応えられる部分と答えられない部分がある。区分けして話をしていきたい。

委員:会議室はいるのかどうか。あすなろと放課後デイの間にある会議室。

事務局:会議室自体が仕様書に入っているため、設計担当業者は作ってくれた。仕様書を覆すより、ソフト面で工夫が必要。

町長:どうせ使わないだろうという意見は少し強い意見だと思う。

事務局:町が仕様書に入れたため、それを反映してくれたという面もある。

事務局:この会議室はコミュカフェで使用することはできるか。

委員:使用することはできる。

事務局:そういうソフト面でコミュカフェがこの会議室を使って作業することは十分考えられますということ。

委員:いろいろな方に利用していただける状況であれば、ここを使用してもらったり。

事務局:ガラスの壁を取ってしまって、ここもリビングっぽくしてしまったり、フリー会議室みたいな感じで使用するのもありだと思う。

委員:会議室の大きさはどれくらいか

事務局:16畳。

委員:絵が難しい会議のようなイメージになってしまっている。

事務局:最初のイメージはこのような感じではなかった。最初に戻してもらおう。

委員:最初事務局が狭かったため、職員が会議をする際に、会議室がいるよという話だったと思う。今度、事務所で広くなった。その事務所で会議をすればいいのではないか。もしかすると会議室という表現が良くないのかもしれない。

事務局:この机、椅子をやめてテーブル2つくらい設置する形でどうか。

委員:これくらいの広さがあれば子供たちも遊べるのではないか。

事務局:机、椅子を用意しないという手もある。

委員:共有スペースのような形にしておけば良いのではないか。
講演をする場を作っておく。

町長:塩尻かどこかの建物でえみりあのような建物があるが、中がガラス張りになっていてみんなが好きところで勉強をしたり、打合せをしたりしている。その中でどうしても外部の声を遮って会議をしなくてはいけないという人たちはガラス張りの箱のようなところに入って会議をやっていた。中は見えるが、音は遮断されているというようなところを作っておかないとダメ。

その場を共有することと、一つの部屋にみんなでというのは意味合いが違う。

事務局:スタッフのミーティングも外部から来た人も使えるような、予約制ではなく、空いていたら

使えるというような場所。

最初のプロポーザルの時は机、椅子はなかった。次の図面から追加された。

他に確認していないことはあるか。

事務局:2階の活動室のステージの関係。ステージに関しては、後々何かそういったステージを用意できれば大丈夫ということで宜しいか。

委員:えみりあにあるような自動壁埋込式のものでなくていい。前回、事務局がいていた手動で収納できるものでも良いと思う。壁収納ができないようであれば簡易的な移動ステージでも良い。

事務局:移動式ステージはかなりの大きさになる。置く場所も必要になることから壁に収納したほうが良いのではないかと思う。

委員:利用者の方の発表等でステージは使用する。

事務局:活動室に最初からステージを作ってしまうのはどうか。

委員:発表等がない場合はフラットで使いたい。

事務局:了解した。

事務局:ステージの高さはどれくらいか。

委員:低いタイプのもので良い。確か、45 cmくらいの高さだったと思う。松川壮にあるようなもの。

事務局:お年寄りだと一歩ではステージに登れない。階段も必要になってくる。

移動式ステージをしまっておける場所が今のところない。埋込式であれば階段を収納できるスペースを確保するだけ。見た目もそちらの方が綺麗だと思う。

事務局:OAフロアについても確認したい。

今の時代、Wi-Fi で十分ではないかというところがある。私としては有線でいろいろなところを繋いでできるほうが良いと思っている。

回線については普通のインターネット回線か専門的な回線になるのか。

委員:OAフロアでないと線が全て外に出てしまう。線に引っかかってしまう可能性もある。事務所は必須ではないかと思う。

事務局:町の担当者にも確認をした。役場はOAフロアではないが配線を隠したり、車いすが通れるよう、カバーをしたり工夫している。ただ、OAフロアの方が当然良いという話はしていた。どれくらい配線が出るのか。社協はOAフロアなのか。

委員:配線については詳しくはわからないが結構な数が出ると思う。現在の社協はOAフロアではない。

事務局:OAフロアについてはなくてよければ、コストも下がる。

委員:上から配線を垂らすのはダメか。

委員:見栄えが良くない。

事務局:壁際に向かって作業をするとなると少しすっきりしたイメージにはなりそうだが今はそういう仕様にはなっていない。

各事業所でインターネットは共有できるのか。各部屋にも LAN を引いたほうが良いのか。

委員: LAN の問題ではなく、配線の問題ではないのか。LAN は Wi-Fi がある。

事務局: Wi-Fi は使わないのではないかと。

委員: Wi-Fi も使用する。主に事務仕事をする事務所は速度的な面も含めて有線にしてほしいということ。

事務局: 普通のインターネット回線で宜しいか。

委員: 宜しい。通信環境が変わっても対応できるよう、OA フロアにしておいたほうが良いと思う。

委員: こんなにも議論しているのはお金がかかるため。だから聞いている。

少し、調べてもらう必要がある。できるだけ低予算で近代的なものの方が良い。

事務局: 低予算でハイスペックなものをどうやって実現させるか調べてみる。

委員: 何十年も使用していく施設になる。そこで少しケチったことによって後々使いづらい施設になるのは良くない。

事務局: 議会から出た疑問の中で答えられなかった質問は以上。

先日、議員に建設委員会のメンバーを 10 人にすると説明したところ、地元の方にも入ってもらったらどうかという意見が出た。そこも含め早急に声をかけていきたい。次かその次くらいの建設委員会から増員して進めたいと思っている。

何か言い忘れたこと等はあるか。

委員: 車寄せの屋根は縦列とのことだったが、建物に沿ってということで宜しいか。また提案いただけるといって宜しいか。

町長: 現在は屋根を長くしているが、建物に沿って屋根を付けたほうが良いのではないかとという案を頂いた。

委員: その形状でも問題はないのか。

委員: 車さえ入れれば問題はない。

事務局: 乗降りに不便がなければ大丈夫か。

委員: 雨除けが運転席側まであれば問題ない。

事務局: 玄関口は絶対濡れないような仕様にすることもできるし、縦列なら車 1 台すっぽり覆うような形にもできる。

次回、設計担当業者に作ってもらう図面にはそこを反映してもらって生かしていきたい。

次回の図面が完成した際は建設委員会の方々よりも先に議会に見てもらおうようになる。建設委員の方々には郵送で配布し、目に触れられるようにしたい。

パブリックコメントもしたいと思っている。一般の方々の意見も伺う機会を設けたい。

意見を反映させたものをたたき台として議会と一般の方々に見ていただくよう進めているのでご承知いただければと思う。

事務局:皆さん関わってもらっている。家族や職場、近所にも話をしてみてもらいたい。

2階建てを平屋にしようといった基本的な部分は変えられないが、中の仕様については意見を頂いたほうが良いと思っている。それに対してこういうやりとりをしていますというのを委員の方たちにもお示ししたいと思っている。

前向きな意見もそうではない意見も出していただきたい。

事務局:開会から1時間半を超えた。閉会としたいが他に意見等はあるか。

最後に町長から挨拶がある。

町長:先ほども少し話に出たが、予算をかけずにいいものをという話を一緒にしていきたいと思う。最後の最後であそこをこうしておけばよかったと何年も後悔するのは嫌だなと思っている。なんでこういうふうにしたのかという意見は多少出てくるとはいえ、せつかくこの場に参加していただいている皆さんには思ったことをどんどん言ってもらいたいと思っている。

私たちがいただいた意見でできるもの、できないものをきちんと把握しながらやっていきたい。

(2)その他

特に意見等はなし。

5.閉会

(20時00分終了)